

証券決済、リコンシリエーションのためのスイフト・メッセージ（2日コース）

SWIFT Securities Settlement and Reconciliation Messages

決済指図、コンファメーション、口座明細などの証券メッセージを使用する必要がある方に最適の2日間のコースです。

<コースの特長>

- 新しいメッセージの機能が様々な種類の取引にどのように使用できるかを検証する
- 新しいメッセージタイプの構造を理解し、ジェネリック・フィールドの反復使用がいかに自動処理の向上に役立つかを確認する
- 実際の業務の状況に沿った証券決済、リコンシリエーション（照合）メッセージの演習
- ISO15022 フォーマットのメッセージへ移行するための知識を獲得できる

<コース対象者>

カストディアン銀行、決済機関、インベストメント・マネージャー、ブローカー・ディーラーやユニバーサルバンクなどの金融機関のビジネスアナリスト、プログラマー、バックオフィスのマネージャー、およびスタッフの方

<受講に必要な知識>

- 証券業務に関する基礎知識
- スイフトに関する基礎知識

<コース内容>

この2日コースは証券取引の各プレーヤーが関わる場面ごとに構成され、以下の内容を含みます。

- 証券取引決済、リコンシリエーションの流れとそれに関連するスイフトメッセージ
- ISO15022 フォーマットのしくみ：
データフィールドディクショナリーとは？ ロジカルブロック内のデータ構築のしくみ
- ジェネリック・フィールドの考え方、利用頻度の高いフィールドとクオリファイヤーの概要
- 証券取引の流れに沿ったスイフトの証券メッセージを用いたケーススタディと例題
 - フリーとアゲンストの証券の受け渡しの指図と関連のコンファメーションメッセージ：
MT 540, 541, 542, 543, 544, 545, 546, 547
 - 取引決済状況報告および保有高関連： MT 549, 535, 536, 537, 548, 578
 - 指図、通知、ステートメントなどデポ・マネージメント或いはイントラ・ポジション関連：
MT 524, 508, 538

このコースは証券決済に関わる各金融機関のより良い特定方法、様々な取引（レボ取引、ペアオフ、自行口座間取引など）、メッセージと取引の関連づけ（バクトゥバックなど）、キャンセルーションといった新メッセージの主だった特徴に焦点をあてています。
また各国の市場慣行の例も取り扱います。